

第五十六回
帝國議會
貴族院

健康保險特別會計法中改正法律案外二件特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

健康保險法中改正法律案

工場法中改正法律案

委員氏名

委員長

嘉納治五郎君

副委員長

男爵佐藤達次郎君

侯爵佐竹 義春君

伯爵黑木 三次君

子爵豊岡 圭資君

若林 齊藏君

小久保喜七君

津久居彦七君

本間千代吉君

昭和四年三月九日(土曜日)午後一時十八分開會

○委員長(嘉納治五郎君) ソレデハ是カラ

開會イタシマス、先ヅ政府委員カラ健康保

險特別會計法中改正法律案、之ニ付テ御説

明ヲ煩シマス

○政府委員(長岡隆一郎君) 健康保險特別

會計法中改正法律案ニ付キマシテハ、本會

議ノ席上ニ於キマシテ主管大臣ヨリ申上デ

マシタ如ク、政府ノ管掌イタシテ居リマス

ル健康保險事業ニ對シマスル一般會計ノ線

入金ハ大體ニ於キマシテ其事務費ニ充當ス

ルノ趣旨ヲ以テマシテ、被保險者一人當リ

一年平均二圓以内ニ於テ保險給付ニ要スル

費用ノ十分ノ一ノ額ヲ繰入レルコトト健康

法ハ相成テ居ルノデゴザイマスガ、健康保

險事業實施後ノ經驗上ニ徴シマスルノニ、

該繰入金ニ對シマスル算定ノ基礎ヲ保險給

付金ニ置キマスル爲ニ、被保險者ノ増減及

ビ標準報酬ノ増減等ニ依リマシテ事務費ニ

増減ヲ來スコトト相成リマスノミナラズ、

其金額ハ年度經過後決算ヲ致シタ後ニナリ

マセヌケレバ確定イタシマセヌカラ、事務

ノ運用上甚ダ支障ガ生ズルコトガ多イノデ

ゴザイマス、仍ッテ今日之ヲ改メマシテ一般

會計ヨリノ繰入金額ハ被保險者一人當リ一

年平均二圓以内ト云フ標準ヲ置キマシテ、

毎年度豫算ノ定ムル所ニ依ッテ此金額ヲ定

メタイ、之ガ特別會計法中改正法律案ノ提

案ノ理由デゴザイマシテ、趣旨モ法文モ

至ッテ簡單ナ次第デゴザイマス

○委員長(嘉納治五郎君) 別ニ御質問ハゴ

ザイマセヌカ、之ニ關聯シテ居リマスカラ、

モウ一方ノ方ノ改正法律案ノ方、其方モ一

緒ニ説明ヲシテ戴キマス

○政府委員(長岡隆一郎君) 健康保險法ハ

御承知ノ通り昭和二年ノ一月一日ヨリ實施

ヲ致シテ居リマスガ、何分我國ニ於テ全國

一齊ニ社會保險ノ第一歩ヲ實施致シマシタ

爲ニ、施行ノ當初ニ於キマシテハ豫期セザ

ル困難ガ生ジマシテ、施行上屢、難關ニ遭遇

致シタノデゴザイマス、次第ニ狀況ガ改善

サレマシテ、今日ニ於キマシテハ稍、良好ナ

成績ヲ舉ゲツ、アルヤウナ狀況デゴザイマ

シテ、先ヅ前途ニ曙光ヲ認メ得ルト云フ狀

態ニ立至ッタノデゴザイマスルガ、實施ノ經

驗ニ依リマスルト、尙ホ健康保險ノ施行ヲ

圓滑ニ致シ、事務ノ簡捷ヲ圖ル上ニ於テ多

少ノ改正ヲ要スル點ガゴザイマスノデ、此

改正案ヲ御審議ヲ願ッタ次第アリマス、唯

此健康保險法ノ根本ノ問題ニ付キマシテ

ハ、事業主側、勞働者側及醫師ノ方面ヨリ

各種ノ要求ガゴザイマシテ、事宜ニ於キマ

シテハ、法ノ根本ニ懇リマシテ多少ノ改正

ヲ加ヘナケレバナラヌ時機ガ到來致ス事ト

考ヘテ居リマスルケレドモ、何分施行後マ

ダ二年ダケノ經驗ヲ以テマシテ法ノ根本ニ

關スル大改正ヲ致スト云フノニハ少々時期

尙早ニ失スルノデハアルマイカ、即チ今暫

ク經驗ヲ積ミ年初ヲ經テカラ、根本的ノ改

正ヲ致ス法ガアレバ、之ヲ更ニ提案ヲ致ス

ト云フコトニ致シマシテ、今回ハ差向キ不

便ヲ感ジテ居リマス所ノ、謂ハバ事務的、

若クハ手續上ノ障礙ヲ除キ若クハ事務ノ施

行ヲ圓滑ニ致スト云フヤウナ趣旨ヲ以テマ

シテ、謂ハバ局部的ノ小改正ヲ提案致シマ

シタ次第デゴザイマス、甚ダ煩瑣デゴザイ

マスガ、此各條ノ主ナルモノニ互リマシテ

大要ヲ御説明申上ゲタイト考ヘテ居ルノデ

ゴザイマス、第八條中ニ改正ヲ加ヘテゴザ

イマスルガ、是ハ從來モ事業主カラ使用シ

テ居リマスル勞働者ノ異動報酬其他ノ必要

ナ事項ニ付キマシテ、報告文書ノ提示ヲナ

サシメルコトガ出來タノデゴザイマセウ

ガ、其外ニ被保險者證ノ交付、返納等ニ關

シマシテ、事業主ノ協力ヲ求メルヤウナ方法

ガアリマセヌ爲ニ、今回健康保險ニソコニ

必要ナル事務ニ付キマシテ、事業主ノ協力

ヲ來メ得ル範圍ヲ擴大致シタ次第デゴザイ

マス、次ニ第十一條ハ現行法ニ於キマシテ

ハ、保險料其ノ他健康保險法ノ規定ニ依リ

マスル徵收金ヲ帶納致シマスル者ガアリマ

スル時ハ、保險者ハ市町村ニ對シマシテ其

處分ヲ要求致シ、市町村ニ於テ市町村稅ノ

例ニ依リ之ヲ處分スルコト、相成ッテ居ル

ノデゴザイマス、從ヒマシテ帶納處分ノ前

提條件デゴザイマスル督促ハ、市町村ガ之ヲ致シマシテモ、督促手數料延滞金ノ如キハ明文ガアリマセヌ爲ニ之ヲ徴收スルコトガ出来ナカッタノデゴザイマス、又右ノ現行法ニ依リマスルトキハ保險者即チ政府ノ督促ハ何等法ノ根據ガアリマセヌ爲ニ威力ニ乏シク、又督促手數料延滞金ヲ徴收スルコトガ出来マセヌガ故ニ、滞納者ニ對シマシテ不利益ヲ感ゼシムルコトガ少ナク、隨ヒマシテ從來政府管掌ノ健康保險ニ於キマシテハ、滞納整理ニ大イニ苦シンダ經驗ガアッタノデゴザイマスルカラ、新ニ第十一條ノ二ノ規定ニ依リマシテ保險官署ニ於キマシテ直接滞納處分ヲ爲シ得ル途ヲ開キマスト共ニ、本條即チ第十一條ニ於キマシテ、督促ハ保險者即チ政府ニ於テ之ヲ爲シ又督促手數料延滞金ノ如キモ徴收ノ途ヲ開キマシテ、以テ保險料ノ徴收ヲ敏速ニ致シ收入ヲ確保セントスル趣旨ニ出テ居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ從來ノ市町村ニ委託イタシマシテ、市町村ヨリ滞納處分ヲ爲スト云フ途ハ今回開ケテハゴザイマセヌガ、其市町村ニ委託シ得ル場合モアル、又土地ノ僻遠ナル場合ニ於テ健康保險官署ヨリ直接執行致シ難キ場合ニハ、市町村ニ從前通り委託スル場合モアリ得ルノデゴザイマスルガ、健康保險官署ガ直接滞納處分ヲ致スコトガ便利デアル場合ニハ、市町村ノ手ヲ借ラズ

シテ督促ナリ滞納處分ノ途ヲ開キ得ルト云フコトニ致シタノガ、此改正ノ趣旨デゴザイマス、第十一條ノ二第十一條ノ三、第十一條ノ四等ハ之ニ關聯致シマシタ手續ノ改正デゴザイマス、ソレカラ第十三條中ニ工場法ノ適用ヲ受クル工場トゴザイマスルノ「工場法第一條ノ規定ニ依リ同法ノ適用ヲ受クル工場」斯様ニ改メマシタノハ、今回此特別委員會ニ於テ御審議ヲ願フテ居リマス工場法改正ノ結果デゴザイマシテ、之ニ付キマシテハ工場法改正法律案ヲ御審議願ヒマス際ニ御説明申上ゲタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ次ハ第二十條デゴザイマスルガ、現行法上被保險者ノ資格喪失後所謂任意繼續、被保險者タリ得ルモノハ被保險者資格喪失ノ前一年内ニ百八十日以上被保險者タリシ者又喪失ノ際引續キ六十日以上被保險者タリシ者ニ限ラレマスケレドモ、一般労働者ハ其就業ノ場所ニ移動性ガ極メテ多クゴザイマス爲ニ、一年内ニ於キマシテ、轉々トシテ被保險者ヲ變ヘル場合ガ少ナクナイノデゴザイマス、ソレ故ニ任意繼續ノ申請ヲ爲スモノノ爲ニ被保險者ニ於テハ多大ノ事務的負擔ヲ忍バナケレバナラス、而モ年々繼續ヲ申請スルモノノ實數ハ極メテ少數デゴザイマスガ故ニ、一年内百八十日以上ノ云々ノ資格要件ヲ廢止致シマシテモ、被保險者側ノ不利益トナル虞レモ少ナイ、

且ツ資格喪失ノ際引續キ六十日以上被保險者タリシコトヲ要件ト致シテ之ヲ存シテ置キマスレバ、保險制度濫用ノ弊ハ防止シ得ルモノト認メラレマスガ故ニ、本條ノ如ク改正致シマシテ、少數者ノ爲ニ多大ノ事務費、事務的負擔ヲ招クト云フコトヲ避ケタイト云フ趣旨ニ過ギナイノデゴザイマス、次ニ第二十七條デゴザイマスガ、現行法ニ於キマシテハ任意繼續被保險者ハ其資格喪失當時ノ保險署ノ管轄ニ屬シテ居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ健康保險組合ノ被保險者タリシ者ハ當該健康保險組合ニ屬スル任意繼續被保險者トナルノ外ハナイノデゴザイマス、併ナガラ之ヲ實際ノ狀況ニ照ラシテ見マスルト云フト、一ツノ工場若クハ一ツノ鑛山ヲ單位トシテ居リマスル所ノ健康保險組合ノ被保險者デアリマシタ労働者ガ、工場、鑛山ヲ解雇サレ、或ハ自ラ進シテ職ヲ退イテ郷里ニ歸タト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、其後任意繼續被保險者トシテ病氣ニ罹リマシタ場合ニハ、元ノ工場、鑛山ヲ單位ト致シテ居リマスル所ノ健康保險組合方面倒ヲ見テヤラナケレバナリマセヌ、是ハ地理的ニナカナカ遠隔ノ郷里ニ歸ルト云フヤウナ場合ガ少クアリマセヌ爲ニ、事務上ニ於テモ又保險給付ノ上ニ於テモ、勞資雙方共ニ不便ガ少クナイノデゴザイマス、今回ノ改正ニ依リマシテ、任意

繼續被保險者ハ健康保險組合ノ構成分子カラ除外致スコトト致シマシタ、從ヒマシテ此除外致シマシタ任意繼續被保險者ハ、政府ノ管掌シテ居リマスル所ノ健康保險組合ノ健康保險ノ任意繼續被保險者トシテ世話スル、詰リ工場、鑛山等ヲ解雇サレテ、任意繼續被保險者トシテ國ニ歸タ、或ハ遠隔ノ地ニ移タト云フモノニ對シマシテハ、元所屬シテ居タ遠隔ノ地ニアル工場、鑛山ヲ單位トスル健康保險組合ノ世話ニナラズシテ、其場合ニハ、其津ト申シマスル甚ダ言葉ハ過ギマスガ、サウ云フ面倒ナモノニハ政府ガ一切世話ヲ見テヤル、是ハ政府ノ健康保險官署ト云フモノハ全國ニ五十箇所ゴザイマスカラ、其手デ保護致シマシタ方ガ、保護モ行届キ醫療モ十分ニ行ハレルト云フ趣旨カラ、後トノ面倒ヲ政府デ見ルト云フ趣旨ニ致シマシテ、其手續ヲ簡單ニ致シタ次第デアリマス、次ハ第四十七條デゴザイマスガ、現行ノ療養ノ給付及ビ傷病手当ノ支給金ニ關スル規定ハ、解釋上ノ疑義ガゴザイマスルノミナラズ、事務ノ處理上モ極メテ不便デゴザイマスカラ、之ヲ廢止致シマシテ、單ニ同一ノ疾病、又ハ負傷、及ビ之ニ依ッテ發シマスル疾病ニ罹リ療養ヲ開始シタモノハ百八十日ノ期間内療養ノ給付及ビ傷病手当金ノ支給スルコト、イタシマシタノデゴザイマス、例ヲ舉ゲテ申シ

マスルト、從來ハ總テノ病氣ニ付テ一年ノ間ハ百八十日間シカ醫者ノ療養ヲ受ケラレナカタ、即チ被保險者ガ眼ノ病ニ罹ル、又齒ノ病ニ罹ル、或ハ腸胃ノ病氣ニ罹ルト云フ場合ニ於キマシテハ、此三ツノ病氣ガ同時ニ起リマスレバ眼醫者ニ通ヒ、齒醫者ニ通ヒ、又腸胃ノ病氣ノ醫者ニ通ヒ、百八十日間療養ヲ受ケルコトガ出來マシタノデゴザイマスレドモ、併ナガラ此病氣ガ一緒ニ起テ吳レ、バ宜シイノデゴザイマスルガ、眼ノ病氣ニ付キ百八十日醫者ニ掛リ、次ニ齒ガ惡クナル、若クハ腸胃ガ惡クナルタト云フ場合ニハ、既ニ前ノ第二回ノ眼ノ治療ノ爲ニ百八十日醫者給付ヲ受ケタト云フ爲ニ、後ニ起リマシタ病氣ニ付キマシテハ最早其年ニ於テハ醫者給付ヲ受ケルコトガ出來ナイト云フヤウナ不便ガゴザイマスカラ、今回ハ一ツノ病氣ニ付テ百八十日ノ期間内療養給付並ニ傷病手当ノ支給ヲ受ケ得ル、斯ウ云フコトニ改正致シマシタ次第デゴザイマス、次ニ第四十九條ノ規定ハ埋葬料ノ規定デゴザイマスガ、是ハ大體今迄二十圓ト云フコトヲ埋葬料ノ標準ニ置イテ居リマシタケレドモ、如何ニ勞働者デゴザイマシテモ、實際葬式ノ狀況ヲ見マスルト、相當ノ費用ヲ要シマスルノデ、或ハ火葬ノ費用、僧侶神官等ニ拂ヒマス費用、或ハ棺桶、其他ノ葬

具ニ關スル費用ヲ計算致シテ見マスルト云フト二十圓ト云フノハ餘リニ少額ニ失スルノデゴザイマシテ、今少シク之ヲ高ムルト云フコトガ實際ノ狀況ニ適スルト云フコトヲ信ジマシテ、大體三十圓ト云フ見當ニ之ヲ増額ヲ致シタ次第デアリマス、次ハ第六十一條デゴザイマスルガ、從來モ勞働者ガ泥酔又ハ喧嘩ヲ致シマシテ、其爲ニ疾病ニ罹リマシタ場合ニ於テハ傷病手当金ヲ減額イタシ、或ハ是ガ支給ヲシナイト云フ規定ガアツタノデゴザイマスルガ、今回著シキ不行跡ニ依テ疾病ニ罹リタ場合モ此條文ヲ適用シヤウトスルノデゴザイマス、是ハ主ナモノ……ト申シマスルヨリ全部花柳病ヲ豫想シテ居ルノデゴザイマスルガ、勿論花柳病ニ罹リマスルコトハ悉ク本人ノ不行跡ト云フコトハ無論ナイノデゴザイマシテ、或ハ床屋ニ於テ或ハ風呂場ニ於テ何等本人ノ不行跡ノ行爲ガナク、偶然罹ルト云フコトモゴザイマスルシ、又多少ノ不行跡ガゴザイマシテモ、是ガ治療ヲ致シマセスト云フコトニナリマスルト、花柳病ノ豫防撲滅ノ上ノ點カラ非常ニ恐ルベキコトデゴザイマスルカラ、花柳病ニ罹リマシタモノデモ勿論治療……治療イタシマスル迄治ホシテハヤリマスルケレドモ、餘リ著シイ不行跡ニ依テ本人ガ再三再四花柳病ニ罹ル、直シテヤッテモ花柳病ニ罹ル、又直シテヤッテモ

花柳病ニ罹ルト云フヤウナ甚シイ本人ノ不行跡ノ爲ニ、再三再四此醫者給付ヲ受ケルト云フ場合ニ於キマシテハ、醫者給付ハ與ヘマス、花柳病ハ直シテヤリマスルガ、其際支給イタシマスル傷病手当金、即チ日給ノ百分ノ六十、一圓ノ報酬ノモノデゴザイマスレバ六十錢ト云フ手当金ヲ與ヘテ居リマスルガ、ソレハ本人ノ著シキ不行跡ニ依テ業ニ就クコトガ出來ナイト云フ場合ハ、病氣ハ直シテヤルガ、其六割ノ手当金ハ支給シナイコトガアルゾト云フコトニ致シマシテ、先ヅ甚シキ不行跡ニ依テ屢、厄介ヲ掛ケルト云フモノニ對シテ、多少警戒ヲ與ヘルト云フヤウナ趣旨ヲ以テマシテ此規定ヲ致シタノデゴザイマス、是ハ衆議院ニ於キマシテモ大分問題ニナリマシタノデゴザイマスルガ、實情ヲ赤裸々ニ申上デマスルト云フト、健康ナル勞働者、且ツ品行ノ良イ勞働者中ニハ、之ニ對シマシテ實ハ苦情ガアルノデゴザイマス、自分等ハ勤勉ニ働イテ居ッテ、衛生ニモ注意スル結果一度モ病氣ニ罹ッタコトモナケレバ、又怪我ヲシタコトモナイ、マア露骨ニ言ヘバ保險料ヲ納メテハ居ルガ、其爲ニ餘リ厄介ニナッタコトハナイ、保險料ノ納メ放シデアル、然ルニ自分等ノ同僚即チ他ノ被保險者ガ病氣ニ罹リ怪我ヲシタト云フ場合ニ、相互保險ノ性質、社會保險ノ性質カラ此補助ヲ與フルコトハ

當然デアルケレドモ、同僚ノ中ニ非常ニ不行跡ナ者ガアツテ再三再四花柳病ニ罹リタニ寢テ居ル、ソレニ對シテ自分等ノ掛ケ金デ始終傷病手当金ヲ支給スルト云フコトハ、ドウモ實ハ甚ダ感情上面白クナイト云フヤウナ聲モアツタノデゴザイマスルガ、無論ソレダケニ依テ此法ヲ改正シタト云フノデハゴザイマセヌ、他ニ幾多ノ原因モゴザイマスルガ、先ヅ此位ノ制裁ヲ加ヘルト云フコトハ法ノ運用上至當デハナカラウカ、尤モ著シイ不行跡ト云フコトヲ實際ニ立證スルト云フコトハ非常ニ困難デアリマシテ、從來關爭泥酔ト云フコトヲ證明スルコトスラナカ……困難デアル、此爲ニ傷病手当金ノ支給ヲ止メ、若クハ減額シタト云フ例モ極メテ少イノデゴザイマスカラ、今回モ著シキ不行跡ト云フコトヲ保險者ニ於テ證明イタシテ傷病手当等ヲ減額若クハ廢止スルト云フコトノ事例ハ餘リ澤山ハナイト存ジマスレドモ、兎ニ角之ニ依ッテ品行甚シキ者ニ對シマシテ相當ノ警戒ヲ與ヘルト云フコトハ必要デアルト云フ趣旨ヲ以テマシテ六十一條ノ改正ヲ提案イタシタ次第デゴザイマス、次ハ八十一條デゴザイマスルガ、從來保險料其他ノ處分ニ不服アルモノノ訴願訴訟等ノ途ヲ開キ、第一次、第二次、第三次ノ健康保險審査會ニ不服ノ申立ヲスルト云フヤウナ途ガゴザイマシタガ、

餘リニ階段カ煩瑣デアリマシテ、從來第二次ノ健康保險審査會ナルモノハ社會局長官ヲ以テ會長ト致シ、第三次ハ社會局長官ヲ以テ會長ト致シテ、一次二次ノ階段ヲ經テ第三次ノ健康保險審査會ニ不服ヲ申立テルト云フ途ガゴザイマシタ、是ハ殆ド斯ウ云フ實例モゴザイマセヌシ、實際ニ於テ必要モゴザイマセヌカラ、事務ヲ簡易ニ致シマスル爲ニ社會局長官ヲ第三次訴願官廳ト致スコトヲ廢止イタシマシテ、直接ニ主務大臣ニ訴願シ、若クハ行政裁判所ニ出訴スルト云フヤウニ事務ノ簡捷ヲ圖リマシタ次第デゴザイマス、其外ノ條文ハ何レモ手續ノ問題若クハ前ニ御説明申上デマシタ條文ノ改正ニ伴ヒマシテ、手續上ノ條文ヲ整理イタシマシタノニ過ギナイノデアリマス、大略改正ノ條項ハ右様ナ次第デゴザイマス

○委員長(嘉納治五郎君) 如何デセウカ、序デニ工場法ノ方モ御説明ヲ願フタ方ガ便宜デアルト思ヒマスガ

○子爵豐岡圭資君 賛成

○委員長(嘉納治五郎君) ソレデハドウカ工場法ノ説明モ序デニ願ヒマス

○政府委員(長岡隆一郎君) 工場法改正ノ趣旨ニ付キマシテ引續キ御説明ヲ申上デマス、我國ノ現行工場法ハ其規定事項ガ頗ル廣汎デゴザイマシテ、例ヘバ就業時間ノ如

キ、或ハ災害豫防ノ外扶助扶養關係ニ關スル諸般ノ事項等ヲ規定シテ居リマス爲、之等ヲ一切ノ工場ニ及ボシマス時ニハ小工場ニ對シマシテ其負擔ガ大ナルコトヲ恐レマシテ、原則ト致シマシテ常時十人以上ノ職工ヲ使用イタシテ居リマス工場及事業ノ性質上危險ナルモノ、及衛生上有害ナル工場ニ限テ工場法ノ規定ヲ摘要シテ居タノデゴザイマス、併ナガラ就業時間ノ制限ニ關シマス事項ハ工場ノ經營ニ重大ナル關係ガゴザイマスノデ、此點ニ關シマシテ使用職工ノ人員ニ依テ簡單ニ區別ヲ設ケマスコトハ、動モスレバ不自然ナル結果ヲ生ジマシテ、不健康ナル問題ヲ生ズルコトガアルノデゴザイマス、殊ニ織物業ニ付キマシテハ近來力織機ガ増加イタシマシテ、且ツ能率増進ノ爲一人ノ受持チマス力織機ノ數ガ漸次増加イタシテ參リマシタ爲、職工十人未滿ノ工場ト雖モ數十人ノ力織機ヲ備ヘマシテ、其組織ニ於キマシテモ、其形態ニ於キマシテモ、其適用工場ト異ナラナイヤウナモノガ澤山生ジテ參リマシタ、而モ一方ニ於テハ就業時間ノ制限ヲ受ケ、他方ハ其制限ヲ受ケナイ、此爲ニ軒ヲ並ベテ居リマス所ノ工場ニ於キマシテモ十人以上ヲ使用イタシテ居リマスモノハ、就業時間十一時間ト云フ制限ヲ受ケル、軒ヲ並ベテ居リマシテモ九人ノ職工ヲ使用シテ居リマスモ

ノハ假令力織機ヲ數十臺使ッテ居リマシテモ時間ノ制限ガナイ爲ニ、長キモノハ十七八時間モ職工ヲ働セテ居リマシテ、殆ド午前ノ三時頃カラ、午後ノ九時頃ニ至ルマデ十八時間モ酷使シテ居ルモノガアルノデゴザイマス、是等ハ衛生上又人道上ノ上カラ遺憾トスル點ガ多イノミナラズ、適用工場、即チ工場法ノ適用ヲ受ケテ居リマスル十人以上ノ工場トノ間ニ甚ダシキ不公平、不權衡ヲ生ズルノデアリマシテ、工場法ノ適用ヲ受ケテ居リマスル工場ハ一種ノ不正競争ヲ受ケテ、法ノ施行ニ困難ヲ來スト云フヤウナ、狀況ニ相成ッテ參リマシタ爲ニ、同業者ヨリモ一齊ニ工場法ヲ適用セラレタキ旨ノ陳情ガサイノアッタノデゴザイマス、併ナガラ先程モ申上デマシタヤウニ、總テノ工場法ノ規定ヲ小工場ニ適用イタスト云フヤウナコトハ、是ハ少シク實用ニ遠イ話デアアルノミナラズ、他ノ家内工業的ノ小サイ工場ニ對シマシテハ就業時間ノ規定ヲ適用スル必要ガナイカトモ考ヘラレルガ、只今申上デマシタヤウニ力織機ヲ使用シテ居リマスル所ノ織物業工場及ビ捻絲工場、是等ニ付テハ其作業狀態ガ既ニ家内工業ノ範圍ヲ脱シテ居リマシテ、紛塵、音響其他ノ有様ハ適用工場ト殆ド異ナラナイ狀況ニナッテ居リマスルカラ、今回ハ休憩ト休日及作業時間ト云フ點ノミニ付テ力織機ヲ

使用スル織物、捻絲工場ニ適用イタシテ、此非人道的、非衛生的ノ狀況ヲ漸次改善イタシマスルト共ニ、適用工場ノ受ケル所ノ不正競争ヲ救フト云フコトノ必要ヲ認メタ次第デゴザイマス、只急激ニ時間ヲ減少イタスト云フコトハ、是ハ餘リニ産業ニ著シイ打撃ヲ與ヘマス、ソレ故ニ當分ノ間一時間ノ延長ヲ認メマシテ十二時間ノ作業ヲ認メタイト考ヘマス、先程十八時間モ作業シテ居ル所ガアルト云フコトヲ申上デマシタノハ、是ハ最モ著シイモノデアリマシテ、大體ニ於テ京都府ノ如キ、神奈川縣ノ如キ、又大阪府ノ如キ、愛知縣、長崎縣、廣島縣、和歌山縣、德島縣、高知縣、佐賀縣等ニ於キマシテハ、或ハ府縣令ノ規定ヲ以テ、或ハ同業組合ノ申合せニ依テ十二時間以內ニ制限イタシテ居リマスカラ、本法ノ改正ニ依リマシテ格別ノ打撃ヲ受ケマセヌ、其外栃木縣ノ如キモノモ同業組合ノ申合せニ依リマシテ十三時間ト云フヤウナコトニ致シテ居リマスルカラ、是等ハ一時間ノ短縮ヲ命ゼラレル譯デアリマシテ、是モ大シク打撃ハナイト思ヒマス、只或ル地方ニ殘ッテ居リマス十四時間、十五時間若クハ甚シキ例ニ至リマス就業時間十七八時間ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、多少ノ迷惑ヲ掛ケルコトト思ヒマスルケレドモ、是等ノ工場ニ於キマシテハ殆ド人身賣買ト申上ゲテ

モ宜イ位ノ方法デ、前貸金ヲ以テ農家ノ處
女ヲ連レテ参リマシテ、甚シイ長時間ノ作
業ヲ強制シテ居ルノデゴザイマス、是等ニ
對シマシテハ多少ノ犠牲ヲ忍ビマシテモ修
業時間、休憩、休日ト云フコトダケノ規定
ヲ適用スルト云フコトハ是ハ無理カラヌコ
トデハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第
デゴザイマス、簡單デハゴザイマスルガ、
大體改正ノ趣旨ハ右様ナ次第デゴザイマ
ス、尙ホ質問ニ應ジマシテ詳細御答申上デ
タイト考ヘテ居リマス

○委員長(嘉納治五郎君) 先ヅ第一ニ健康
保險特別會計法中改正法律案、之ニ付テ御
質問ガゴザイマスルナラバ此際ニ質問ヲ願
ヒマス……別ニ御質問ガゴザイマセヌナラ
バ健康保險法中改正法律案、其法案ニ付テ
御質問ガゴザイマスレバ御質問ヲ願ヒマ
ス

○伯爵黒木三次君 チョット伺ヒタイノデ
ゴザイマスガ、只今御話ノヤウニ此健康保
險法中改正法律案ハ根本ノ問題ニハ觸レズ
ニ之ヲ施行スルニ當テノ不便ナ點ヲ改正
スルト云フ御話デゴザイマシテ、見タ所矢
張りサウ云フ風ニ我々モ思考イタサレマス
ガ、此十一條ノ二、三ト云フ風ニ斯ウ云フ
風ニシマス、實際ニハ斯ウ云フ滯納ト云
フコトノ例ガ多クアルノデゴザイマセウ
カ、ソレヲチョット伺ヒタイト思ヒマスガ

○政府委員(長岡隆一郎君) 黒木伯爵ノ御
質問ニ御答申上デマスルガ、從來工場、鑛
山ヲ單位トシテ居リマスル健康保險組合ニ
於キマシテハ滯納ノ例ハ殆ドナイ、ト申シ
マスノハ是等ノ組合ニ於キマシテハ大工
場、大鑛山ヲ單位トシテ居リマス、賃銀ヲ
職工坑夫ニ拂ヒマス、際ニ保險料ヲ差引イテ
渡ス、斯ウ云フ方法ヲ執ッテ居リマスル爲
ニ、滯納ハマア非常ニ少イノデアリマス、
政府ノ管掌イタシテ居リマスル健康保險ノ
被保險者モ大體此健康保險組合即チ自治的
ノ機關ヲ組織スルコトノ出來ナイ小工場、
小鑛山等ノ全國的ニ網羅シテ、マア謂ハバ
屑ト申シマスカ、ソレヲ其全部一ツノ經濟
ノ下ニ引受ケテ居リマス爲ニ、政府ノ管掌
シテ居リマスル健康保險ノ經濟ニ於キマシ
テハ、滯納ノ例ガ頗ル多イ、ソコデ左様ニ
申上デマスルト隨分、小工場等ニ於キマシ
テハ、滯納處分ヲ致シマシテモ、速モ其今
日ノ不景氣ノ際デハ共倒レニナルヤウナモ
ノニ付キマシテハドウモ諦メマシテ滯納處
分ヲ致サナイコトモゴザイマス、併ナガラ
ソレハ被保險者デアリマスカラ病氣ノ場合
ニ矢張りシテヤラナケレバナラヌ、又傷病
手當金モ拂ハナケレバナナイト云フ結
果、他ノ被保險者ニ付テハマア迷惑ニナリ
マス、併ナガラ假令強制處分ヲシテモ第一
次ニ國稅ノ分ヲ差引カレル、第二ニ市町村

稅ヲ差引カレルト實ハ健康保險ノ方デ受取
ル額モナイ、而シテ其事業ガ其爲ニ破産シ
テシマフト云フコトデハ矢張り其元モ子モナ
クナルト云フコトカラ滯納處分ヲ差控ヘマ
シテ、マア細ク長ク取ルト云フヤウナ方法
ヲ致シテ居リマスルガ、是等デアリマセヌ
デモ、相當資力ガアリマシテ、保險料ヲ納
メ得ル力ノアル者モ隨分此納メナイデ、横
著ヲ致スト云フノガ少クナイ、是ハ甚ダ申
上難イコトデアリマスケレドモ、市町村ニ
委託イタシマシテモ市町村ト云ヘバマウ實
ハ自分ノ直接頭ノ上ニ振懸ッテ來ル問題デ
ハナイノデ、強制處分ヲシテ市町村若クハ
役場ガ工場、鑛山等カラ憎マレル、而モソ
レハ他所ノ人ノ爲ニ滯納處分ヲスルノデア
ルカラト云フノデ、囑託ヲ致シマシテモ滯納
處分ヲ仲ミシテ呉レナイ場合ガ相當アルノ
デゴザイマス、過日此保險料ノ滯納ノ非常
ニ多イノニ苦シマシテ、全國ノ保險、健
康保險署長、先程五十アルト申シマスガ、
五十ノ保險署長及徴收課長等ヲ集メマシ
テ、此滯納ノ整理ノ善後策ニ付テ數日ニ互
テ會議ヲ開イタノデゴザイマスガ、ドウシ
テモ此市町村ニ委任シテ居ルダケデハ到底
整理ガ付カナイ、或場合ニ於テハ保險官署
ガ直接滯納處分ヲシ、若クハ督促スルト云
フ途ヲ開カナケレバ年々此保險料ノ滯納ガ
多クナッテ、遂ニハ保險經濟ノ根柢ヲ脅カ

スヤウニナルカラ、是非直接滯納處分ヲシ
得ル途ヲ開イテ呉レ、サウスレバ健康保險
官署ノ今迄事實上致シテ居ッタ督促ト云フ
ヨリモ寧ロ催促デゴザイマセウ、ソレヲ今
迄ハ威力ガ餘リナカッタガ、背後ニ健康保險
官署ガ滯納處分ヲシ得ルト云フ威力ガアレ
バ此催促、督促ト云フコトモ相當效果ヲ及
ボスカラト云フヤウナ趣旨ガ五十人ノ署長
皆一齊ノ意見デアリマシテ、如何シマシテ
モ現在ノ滯納ノ年々殖エマスル狀況ヲ一掃
イタシマスルニハ此方法ヲ開カナケレバナ
ラヌト信ジテ居リマスノデゴザイマスガ、
併ナガラ是トテモ幸、是ガ御審議ヲ願ヒ
マシテ、兩院ノ御協賛ヲ經マシテ法律ニナ
リマシテモ、之ダケヲ以テ今迄ノ滯納ヲ一
掃シ得ルモノトハ思ヒマセヌ、是ハ先程申
上デマシタヤウニ横著ナ者カラ取り得ルト
云フコトハ餘程整理セラレルト思ヒマス
ガ、事實不景氣ノ爲ニ事實上納メラレヌト
云フ者ニ對シテハ、是ハドウモ相當、人情
味ノアルヤリ方ヲシマセヌト云フト相成ラ
ヌト考ヘテ居リマスカラ、之ニ依ッテ今迄
ノ滯納ガ悉ク一掃セラレルトハ信ジテ居リ
マセヌガ、餘程面目ガ改メ得ルヤウニナル
ダラウト考ヘテ居ル次第デアリマス

○委員長(嘉納治五郎君) 外ニ御質問ガゴ
ザイマセヌカ、チョット速記ヲ待ッテ下サイ
〔速記中止〕

○委員長(嘉納治五郎君) ソレデハ速記ヲ繼續シテ下サイ

○伯爵黒木三次君 私ハマダ衆議院ノ速記録ヲ讀ミマセヌデゴザイマシテ、甚怠慢ナコトヲ御託ビイタシマスガ、私ガ斯ウ見テ一寸目ニ付キマスノハ六十一條ノ中ノ「鬭爭若ハ泥酔」ヲ「鬭爭、泥酔若ハ著シキ不行跡ニ改ム」、此著シキ不行跡、斯ウ云フヤウナ字ガアリマス、之ハ今御説明ニ依リマス、花柳病ガ而モソレガ罹テハ又治リ、又罹テハト云フヤウナモノデアッテ、コンナコトハ常識デ或程度マデ一年ニ何遍モ罹ッタカ月ニ何遍モ罹ッタ、之ハイカヌト云フ風ナコトデゴザイマセウガ、之ナカスウニ云フ風ナモノ何カモット細カイ規則カナシカニ依テナントカ之ヲ御シニナルノデアリマセウカ、ソレデナクテ私共一寸伺ヒマスルト著シキ不行跡ダト云フ風ダト随分是ハ威嚇ト云フチヤ可笑シイデセウケレドモ、只今ノ御話ニ依リマスルト威嚇サレルヤウナ氣味ガアッテ、政府デ社會政策、社會政策ト云フ風ニ仰シヤイマスニ拘ラズ、何ダカ私共カラ見マシテ、著シキ不行跡デナクトモ先ヅ鬭爭泥酔ソレカラマア何トカモウ少シ斯ウ云フコトハナイカト思ヒマシマスガ、其點ニ付キマシテ、私衆議院ノ速記録ヲ見マセヌコトハ重々不注意デゴザイマステレドモ、モウ一遍ドウゾ其點ニ付テ御説

明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(長岡隆一郎君) 此條文ニ付キマシテハ先程モ其一端ヲ申上デマシタヤウニ、衆議院ノ特別委員會ニ於キマシテ相當議論ガアリマシタ、ソレハ主トシテ此無產黨ノ代議士ノ方ヨリ労働者ト云フモノハ妻帶出來ナイ者ガ多イ、是ハ或ル場合ニ或ル方法ニ依テ性慾ノ満足ヲ滿タスト云フコトハ、ドウモ今日ノ労働者ノ狀況デハ已ムヲ得ナイノデアアル、之ヲ入レルト云フコトハドウモ如何ナモノデアアラウカト云フ御議論ガ大分出タノデアリマス、併シ先程申上デマシタヤウニ、著シキ不行跡ノ場合デモ病氣ハ必ズ治シテヤル、只手當金ヲ減額スルコトモアラウト云フコトダケデアルカラト云フコトデ結局御了解ヲ得マシテ、衆議院ニ於キマシテハ滿場一致ヲ以テ御可決ニナツタ譯デゴザイマスルガ、尙ホ其際ニ其實行ニ當テハ餘リ是ハ廣キニ互ライヤウニ十分當局ニ於テ手心ヲ用キテ吳レト云フ御要求ガアリマシタノデ、當局ニ於キマシテハ此規定ガ餘リ漠然トシタヤウナ文字デゴザイマスルカラ、何等カ内規ヲ作りマシテ、其内規ノ内容ハ今日マダ手許ニ持ッテ居ルト云フ運ビニハ至ッテ居リマセヌガ、相當是ガ廣キ範圍ニ適用受ケナイヤウニ、實行上不都合ノナイヤウニ、注意イタシタイト云フコトヲ私カラ申上デマシタ次第デゴ

ザイマス、只今考ヘテ居リマスルコトハ、之ヲ本人ノ家族ノ事情ト云フコトモ考慮ニ入レナケレバナラヌコトト考ヘテ居リマス、即チ本人ガ著シキ下行跡ニ依ッテ働クコトガ出來ナイト云フ場合ニ於キマシテモ、本人ニ罪ガアリマシテモ妻子ニハ何ノ罪モナイノデゴザイマスカラ、其爲ニ妻子ガ餓エニ苦シムト云フヤウナコトニナッテモ、事情氣ノ毒デアリマスルカラ、是等ノ場合ニ付キマシテハ、妻子ノ生活ニ窮シナイダケノモノヲ減額シテ與ヘルトカ、或ハ如何ナル原因ニ依ッテ花柳病ニ罹ッタカト云フコトハ、是ハ餘程推定ナリ立證ニモ困難デアリマスレドモ、本人ニ甚ダシキ缺點ノナイ限り減額ハシナイヤウニ、是等ノコトニ付キマシテハ、何レ本法ガ兩院ヲ通過イタシマスレバ、先程申上デマシタ健康保險署長會議ヲ其時ニ開キマシテ、是等ノ適用上寬嚴宜シキヲ得ルヤウニ内規ニ付テ相談ヲ致シタイト考ヘテ居リマスルノデ、之ニ依ッテ甚ダシク被保險者ヲ苦シメ、其生活ヲ脅カス等ノコトノナイヤウニハ十分注意ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ此文字ニ付キマシテハ甚ダ手際ノ宜シクナイ文字デゴザリマスルガ、是ハ政府部内ニ勞働保險調査會ト云フモノガゴザイマシテ、之ニハ勞資ノ兩方面カラ委員ガ出テ居リマス、又學識經驗ノアル方モ委員ニ御願ヒシテア

リマスルシ、又貴衆兩院ノ議員ノ各位ニモ委員ニ御願ヒシデアリマシテ、是等ノ立案ニ付キマシテハ常ニ勞働保險調査會ニ諮問ヲシテ成案ヲ練ッテ戴クノデアリマスガ、其勞働保險調査會ノ特別委員會ニ於キマシテモ、何カ適當ナ文字ハナイカト云フヤウナコトガ色々議論ガ出マシテ大分時間ヲ費ヤシテ練リニ練ッタノデハゴザイマスルガ、ソレ等ノ方ノ御意見デモ矢張り此著シキ不行跡ト云フ文字以外ニ善イ智慧ガ實ハ出ナイ爲ニ此儘此文字ヲ法文ニ現シタ、斯様ナ次第ニナツテ居ルノデアリマス

○伯爵黒木三次君 斯ウ云フコトハ私ハ存ジマセヌガ、外國ノ事例デハ斯ウ云フヤウナモノガ何カゴザイマセウカ

○政府委員(長岡隆一郎君) 外國ノ立法制ニ付キマシテハ「ミスコンダクト」ト云フ字ヲ使ッテ居ル例ガ相當アルサウデゴザイマス

○伯爵黒木三次君 健康保險組合ノ監督ト云フモノハウマク行ッテ居ルモノデゴザイマセウカ

○政府委員(長岡隆一郎君) 是ハ有リ體ニ申上デマスルコト云フト、十分ニ監督ガ行ハレテ居ルト云フコトハ申上兼ネルノデゴザイマシテ、先程申上デマシタ全國ニアリマスル所ノ五十ノ健康保險署長ト云フモノハ法制上健康保險組合ヲ監督スル權限ヲ持ッテ居リマセヌ、又若シ此權限ヲ與ヘマシテ

モ、實際署長ノ三分ノ二以上ハ判任官タル
書記デアリマスルカラ、此有力ナ健康保險
組合ヲ監督スルト云フニハ餘リニ無力デア
リマス、法制上ニ於キマシテハ、社會局ニ
本部ヲ持ッテ居リマス、ソレカラ大阪ニア
リマスル社會局保健部ノ出張所ハ此二者ガ
全國ヲ兩分イタシマシテ健康保險組合ヲ監
督スルト云フコトニハナッテ居リマスルケ
レドモ、是ハ事實有リノ儘ヲ申上マスルガ、
人ノ關係、旅費等ノ關係カラ周到ニ健康保
險組合ヲ監督シテ居ルト云フコトハ申上兼
ネルノデゴザイマス、此爲ニ相當ノ色ミナ
問題モ生ジマシタ、ソレデ健康保險組合ノ
財政上ノ基礎ハ今日デハ大體良クナッテ居
リマスルケレドモ、一番心配ナノハ醫療給
付ノ上ニ於テ果シテ十分ニ行ハレテ居ルカ
ドウカト云フ點デアリマス、事毎ニ付テノ
監督ハ實ハ不十分ノヤウニ私ハ自分ニ自覺
シテ居リマス、ソレデ是ハマダ私モ今日考
ヘテ居ルコトデ、熟シタル意見デハゴザイ
マセヌガ、今後ノ問題トシマシテハ、或ル
程度迄府縣知事ノ協力ヲ仰イデ監督スルト
云フ方法ヲ執ラザル以上ハ、ドウシテモ現
狀ヲ改善スルト云フコトニハ他ニ適切ナル
方法ガ見當リマセヌ、寄り〜相談ハ致シ
テ居リマスルガ、是ハ此健康保險法ノ法律
自體ニハ關係ハゴザイマセヌガ、官制其他
ヲ多少考慮イタシマシテ、將來ハ健康保險

組合ノ監督ニ付テハ府縣知事ノ協力ヲ求メ
テ其監督ノ周到ヲ期スルト云フヤウナ方法
ニ出デルノガ適當デハナイカ、斯ウ云フコ
トデ實ハ寄り〜官制ノ改正ノ相談ヲ致シ
テ居ルヤウナ譯デゴザイマス
○委員長(嘉納治五郎君) 外ニ御質問ハゴ
ザイマセヌカ
○伯爵黒木三次君 私ハ是ハマルデ違ッ
方面カラ聞キマシタノデゴザイマスガ、御
醫者サンノ方カラ、ドウモ是ハ迷惑ダト云
フヤウナ聲ヲチオイト聞イタコトガゴザイ
マスルガ、サウ云フ點ニ關シマシテハ或ハ
今度茲ニ何ニモ見エテ居リマセヌガ、何ト
カ御考ヘガゴザイマスノデスカ
○政府委員(長岡隆一郎君) 實ハ醫療給付
ニ付キマシテハ日本醫師會ト社會局トノ契
約ニ依リマシテ、大體自由選擇主義ト云フ
コトヲ採ルコトニナッテ居リマス、ソコデ病
氣ニ罹リマシタ時ニ、此醫者ニ是非カ、ラ
ナケレバナラヌト云フコトデアリマス
ト、患者ノ心理狀態トシテドウモ好マシク
ナイ、要スルニ自分ノ信賴シテ此人ナラバ
ト思フ醫者ニカ、リ得ルト云フコトナラバ
心理的ニ非常ニ宜シイト云フコトカラ、大
體日本醫師會ニ加盟シテ居リマスル所ノ醫
師ノ大部分ハ健康保險醫トシテ、此被保險
者ノ診療ヲ負擔スルト云フコトニ相成ッテ
居リマス、然ルニ健康保險法施行ノ當初

ニ於キマシテハ、マダ此醫師ノ訓練モ足ラ
ズ、勞働者モ社會保險ト云フコトニ付テ何
等訓練モナカッタ爲ニ、一部ト云フコトヲ申
上ダマスガ、一部ノ醫師、一部ノ被保險者
ノ間ニ相當苦情ガヌ、タト云フノハ卒直ニ
申上ダマス、被保險者トシテハ保險料ヲ
毎月賃銀ノ内カラ差引カレテ居ル、差引カ
レテ醫者ニカ、ラナケレバ早ク云ヘバ損ダ
ト云フ心理モ餘ホド支配スルモノト見ヘル
ノデアリマス、併ナガラ腹ノ痛クナイノニ
苦イ藥ヲ服ムト云フコトモアリ得ナイノデ
アリマスカラ、大多數ノ勞働者ハ、齒科醫ニ
殺到シタ譯デアリマス、是ハ詰リ斯ウ云フ
生活ヲシテ居リマス人ハ皆齒齦ガアルト
カ、齒ガ痛イト云フヤウナコトガ隨分數ニ
於テハ相當ノ數ニ上ルノデアリマス、金ヲ
出スカラ我慢ヲシテ居タノガ、只ナラバー
ツ診テ貰ハウト云フ譯デ齒醫者ノ所ヘ非常
ニ當時患者ガ殺到シタノデアリマス、其次
ニハ勞働者ノ内ニハ眼ノ惡イモノガ相當ニ
多イ「トラホーム」デアルトカ血膜炎デア
トカ云フノガ多イノデアリマスガ、是等モ
只ナレバーツ行ッテ診テ貰ハウト云フノデ、
眼科醫ノ所ヘ殺到スルヤウナ譯デ、實ハ昭
和二年度ノ前半期ニ於テハ私ドモモドウナ
ルカト思フ位ニ心配シタノデアリマス、從ヒ
マシテ醫師ノ受ケル報酬ト云フモノガ總額
ガ決ッテ居リマスカラ、患者ガ澤山來マスル

ト詰リ一點當リ單價ガ少ナクナル、始メハ
一點ノ單價ハ十五錢乃至二十錢位ニ當ル積
リデ引受ケタ醫師會ガ、ヤッテ見マスルト
圖ラザリキ一點三錢ト云フ甚ダシク低イ、
一劑ヲ盛リマシテ殆ド原價ト藥壞ニ引合ハ
ヌ位ノ狀態デアリマシタ、各地ニ於テ保險
醫ガ不平ヲ起シタト云フ問題ヲ生ジタノデ
アリマス、最モ保險醫ノ内ニモ隨分不届ナ
モノガアリマシテ、當然單價ガ少ナイナラ
バ先ヅ澤山付ケカケテ數デコナシテヤラウ
ト云フノデ、一劑ヲ與ヘタモノハ二劑ト書
イテ出シ、或ハ「レントゲン」デ診タトカ、
腦ノ検査ヲシタトカ、血液ノ検査ヲシタト
カ、注射ヲシタトカ無數ニ持出シ、ソレニ
依ッテ單價ガ少ナイノヲ虚偽ノ診察……數
ニ依ッテ補フモノスラ出テ參ッタノデアリマ
ス、ソレハ一部デハゴザイマスガ……其爲
メニ健康保險醫ヲ除名シタノモゴザイマ
ス、斯ノ如キ混亂狀態ヲ續ケテ居ッタノデア
リマスガ、段々此濫診濫療ノ豫防ト云フコ
トニ付キマシテ、醫師會ト協力シテ能ク宣
傳モ致シ、豫防ヲ致シマシタ爲ニ、今日ニ
於テハ先ヅ餘ホド落付イテ參リマシテ、勞
働者側ノ苦情モ醫師側ノ苦情モ餘ホド緩和
サレテ參リマシタ、併シ御承知ノ通り新聞
等ニ現ハレマスル記事ハ多ク苦情ノ記事デ
アリマシテ、是ハ所謂善事門ヲ出デズ惡事
千里ヲ走ルデ、善イコトハドウモ隠サレテ

居リマスノデ、私ノ手許ニハ随分労働者カラ涙ノ出ルヤウナ感謝狀モ參テ居リマス、例ヘバ腹膜炎ニ罹テ、普通ナラバ手術モ受ケラレズ、家族ハ饑ニ苦シム所ヲ病院ニ收容サレテ完全ナ手術ヲ受ケ、而カモ其間六割ノ日給ヲ受ケテ完全ナ體ニナツタ、ソレ以來健康保險所ノ方ニハ足ヲ向ケテ寢ナイト云フヤウナコトヲ言テ來テ居ル者モアリマス位デアリマス、併ナガラサウ云フコトハ世間ニ傳ハラズ、斯ウ云フ不親切ナ取扱ヒヲシタ、斯ウ云フ差別待遇ヲ受ケタ、健康保險患者デアルト云フコトヲ言タラ、直チニ看護婦ノ取扱ガ不親切ニナツタト云フヤウナ、サウ云フ苦情ガ屢、新聞ノ同情欄ヲ賑ハシ、又ソレガ世間ニ傳ヘラレテ居ルノデアリマス、醫師ト致シマシテモ、随分之ニ付テハ獻身的ニ大ナル犠牲ヲ拂テ診療ニ從事シテ呉レル者モ相當アルノデアリマスガ、一、二不親切ナ醫者ガアリ、不親切ナ病院ガアレバ其聲ガ段々廣ガツテ、如何ニモ健康保險ト云フコトハ労働者ノタメニナラヌノミナラズ、醫者モ迷惑スルト云フ聲モ高マツテ居ル譯デアリマス、併ナガラ當初ノ状態カラ見マスレバ餘程之ヲ改善サレテ參リマシタタメニ、モウ暫ラク狀況ヲ見ナケレバ此健康保險法ノ功罪ヲ論ズルト云フコトハ時期ガ早クハナカラウカ、先程申上デマシタ根本的ノ改正ヲ此際見合セルト云フ

コトヲ申上デマシタノモ、二年ノ經驗ヲ經テ居ルトハ申シナガラ、初メノ一年ト云フモノハ謂バ混亂狀態デ、只一年タケノ經驗シカ經ナカッタヤウナ次第デゴザイマスルカラ、又之ニ付テ成績ヲ論ジ、是ガ功罪ヲ判斷シ、從テ法ノ根本的改正ヲ企テルト云フ今日ハ時期デハナイ、斯様ニ心得テ居ルノデゴザイマス、當面ノ問題ト致シマシテハ大體來年度ノ醫療契約ニ付キマシテハ、數日前ニ私ト日本醫師會ノ會長北里男爵トノ間ニ口頭デ話ガ付キマシタ、來ル十七日ニ日本醫師會ハ總會ヲ招集シマシテ、此醫療契約ノ討議ヲ致スコトニナツテ居リマスガ、大體北里男爵ノ御見込デハ多少ノ議論ハアラウケレドモ、先ヅ來年度ノ醫療契約ハ圓滿ニ引受ケラレル御見込デアルト云フコトデ、多分十七日ノ總會ニ於テ圓滿ニ協定ヲ遂ゲルコト考ヘテ居リマス、併シ一部ニ於テマダ幾ラカ不平ガ殘テ居ルト云フコトハ確カデゴザイマス、今ハ全國平均デ十五錢位ニナツテ居リマス、此十五錢位ノ單價デアレバ不平ハ左程ナイノデアリマス、併シ此大都會等ニ於テハマダ十錢内外ノ所モアリマシテ、サウ云フ所ノ不平ハ消滅シタト云フコトハ申上デ兼ルノデアリマス

○伯爵黒木三次君 今私ノ承リマシタ所デハ能ク了解イタシマシタ、私モ實ハ齒醫者ニ聞イタ次第デゴザイマス、此全體ヲ見マシテモマダ威嚇ト云テハ可笑シウゴザイマスガ一體政府ト云フモノハ……上ト云フモノヲ怖ガツテ居ルモノモゴザイマスカラ、ソレニ妙ナ慣習モゴザイマスカラ、ドウゾ斯ウ云フ條文ニ付テハ成ルベク、何ト申シマスカ德ニ斯ウ云フ問題ニ付テハ社會局ニ於テ寛ト云テハ語弊ガアルカ知レマセヌガ、御手配アツテ然ルベク願ヒタイト思ヒマスカラ、其點ヲ御注意申上ゲテ私ハ質問ヲ打切りマス

○委員長(嘉納治五郎君) 外ニ御質問ハゴザイマセヌカ……御質問ガゴザイマセヌケレバ、工場法中改正法律案、之ニ付テ御質問ガゴザイマスナラバドウゾ願ヒマス

○伯爵黒木三次君 工場法非適用工場ニ於ケル就業時間調ト云フノガゴザイマスガ、是ハ工場一万余ノ約四分ノ一ニ付テ御調べニナツタノデゴザイマスガ、是ハドウ云フ地方デゴザイマスガ

○政府委員(長岡隆一郎君) 只今御質問ノゴザイマシタ調べハ全國一齊ニ調査シタモノデハゴザイマセヌノデ、謂バ、拔書キ書調ノモノデゴザイマスルカラ、之ヲ以テ全部ヲ網羅シタトハ申上デ兼ネルノデ、唯之ヲ以テ先ヅ一般ノ御推察ヲ願フ材料ニ差上ダタノデアリマシテ、是ハ昭和二年七月大阪府、神奈川縣、群馬縣、千葉縣、岐阜縣、山口縣、福島縣ノ一府六縣及静岡縣濱松地方ニ付テ調査イタシマシタ調デゴザイマス

○伯爵黒木三次君 唯今ノ條文ノ中ノ「同條ノ就業時間ヲ一時間以内延長スルコトヲ得」トゴザイマスルガ、是ハ斯ウ云フヤウナ十八時間トカ何時間ト云フ多イ時間ノモノヲ制限シテ幾分カ労働者ヲ勞テヤラウ、斯ウ云フヤウナ御趣旨デアラウト存ジマスルガ、「一時間以内延長スルコトヲ得」ト云フ風ニスレバ當然一時間延長サレテ仕舞フト云フヤウナコトニナリハシナイノデアリマセウカ、私共考ヘマスルト寧ロ「適用後二年以内」ト云フノモ一層ノコトナクシテシマッタ方ガ宜イノデナイカト思ヒマス、如何デアリマスガ、御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(長岡隆一郎君) 此一時間ノ延長ヲ認メルニ付キマシテハ無論ハ可否兩方ノ意見ガ立ツコト考ヘマス、是モ赤裸々ニ申上デマスルト云フト全國大多數ノ商業會議所、大多數ノ當業者ノ組合カラハ本條ノ改正ニ付テハ賛成デアルノミナラズ、促進ノ陳情ガアツタノデゴザイマスルガ、何分適用ヲ受ケマスル小工場、例ヘバ濱松地方ノ織物、山梨縣ノ甲斐絹ノ工場ト云フヤウナモノニ付キマシテハ急激ニ之ヲ制限サレルト云フコトハ、非常ニ事業ノ經營上苦痛デアルカラ、實ハ十三時間マデ認メテ欲シイト云フ陳情ガアリマシタノデ……申ス

マデモナイコトデゴザイマスガ、勞働立法、社會立法ト云フコトハ純理ヲ以テ論ジマスルト是ハモウ直截簡明ニナリマスルケレドモ、當ニ産業界ノ現状、社會ノ實情ト云フモノヲ考慮シツ、漸進的ニ參リマセヌト兎角スレバ産業界ニ打撃ヲ與ヘル危險モアリマスルノデ、實ハ衆議院ニ於キマシテモ就業時間ノ規定ノミナラズ、扶助ノ規定、解雇、傭入等ノ規定ヲモ是等ニ適用スルノガ相當ダト云フヤウナ強イ御意見モアッタノデゴザイマスガ、當局者トシマシテハ、或ハ見方ニ依リマシテハ因循姑息トモ申サレマスガ、矢張り勞資兩方面ノ實情ト云フモノヲ頭ニ置キマシテ一方ニ於テ漸次勞働者ノ待遇ナリ、勞働條件ヲ改善スルト云フコトハ頭ニ置キマスガ、又此産業界ノ狀況ト云フモノモ始終頭ニ入レテ考ヘマセヌト、爲ニ事業界ニ打撃ヲ與ヘテ事業ヲ止メルト云フヤウナコトモ起キマスシ、結局失業其他ノ問題トナツテ勞働者ノ不利益トモナリ、所謂角ヲ矯メテ牛ヲ殺スト云フヤウナコトニナリマスルカラ、此因循姑息ト云フヤウナ非難ヲ受ケマシテモ、先ヅ此漸進的實情ニ即シテ改正ヲシテ行ク外ナイ、是ガ大體吾々ノ常ニ考ヘテ居リマスルコトデアリマシテ、是ニ付キマシテモ當業者ガ只今黒木伯爵ノ御意見ノヤウニ、直チニ三時間マデ持テ來テ吳レト云フヤウナ意見ガアリ、彼

是參酌シマシテ先ヅ現状ニ大イナル變化、大イナル打撃ヲ與ヘザルト云フ意味合ニ於キマシテ、二年間ハ是等ノ小工場ニハ、十二時間ノ作業ヲ認メテ二年經テカラ十一時間ト云フ所ノ適用工場ト同ジヤウニ認メルノガ適當デハナカラウカ、斯ヤウニ考ヘタ次第デアリマスルガ、彼是レ、二年ト云フコトニ付テモ數學的ノ強イ根據ガアルカト云ヘバ是ハマア目分量ノ問題デ、常識的ニ見當ヲ付ケタト云フコトニ過ギナイノデ、先ヅ此二年間一時間延長シテ十二時間ノ作業ヲ認メレバ是等ノ小工場ガマア十三時間認メテ吳レ、バ苦情ハ言ハヌガト云フ位ノ程度デ非常ナ大イナル不平、大イナル打撃ヲ受ケツシテ先ヅ此位ノ程度ナラバ圓滿ニ滑ラカニ法ガ施行サレルノデハナカラウカ、マア大體右ヤウノ趣旨ニ外ナラヌノデゴザイマス

○委員長(嘉納治五郎君) 他ニ御質問ゴザイマセヌカ、チヨット速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○委員長(嘉納治五郎君) ソレデハ臨時ノコトガアッタナラバ變ヘルトシテ、十四日本會議ガナカタナラバ午前十時、本會議ガアッタナラバ會議ノ濟ミ次第、斯ウ云フコトニシテハ如何デセウカ

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○委員長(嘉納治五郎君) ソレデハ何レ是

ハ改メテ御通知ハ致シマセウガ、ドウゾサウ云フ風ナ御含ミデオイデヲ願フデ、今日ハ是デ終ルコトニ致シマス、ソレデハ今日ハ是デ終ツテ置キマス

午後二時三十分散會

出席者左ノ如シ

委員長 嘉納治五郎君

副委員長 男爵佐藤達次郎君

委員

侯爵佐竹 義春君

伯爵黒木 三次君

子爵豊岡 圭資君

若林 齋藏君

津久居彦七君

政府委員

社會局長官 長岡隆一郎君

昭和四年三月十四日印刷

昭和四年三月十五日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局